**別紙１０**

令和５年度　拠点研究計画調書

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究代表者氏　　名 |  | 研究グループ |  | 研究種目 |  |
| 研究部門・センター |  |
| 特別推進一般推進 |
| 研究分野・研究領域 |  |
| 研究課題 |  |
| 新規・継続 |
| 本研究の概要 |  |
| 重点課題 | １．巨大地震災害　２．極端気象災害　３．火山災害　４．防災実践科学５．国際展開（GADRI・国際交流協定機関を　・ 含む　・ 含まない）　（複数選択可） |
| 研究組織研究代表者※印参画する研究分担者数が多い場合は別用紙(A4一枚以内)で研究組織を添付してください。 | 参画する研究分野・研究領域数 | 合計　　研究分野・研究領域 |
| 氏名（所内） | 研究分野領域名・職名 | 　現在の専門 | 研究の役割分担 |
|  |  |  |  |
| 氏名（所外） | 所属・職名 | 　現在の専門 | 研究の役割分担 |
|  |  |  |  |
| 　合計　　　　名 |  |
| 研究経費 | 総　額（千円） | 使用内訳（千円） |
| 設備備品費 | 消耗品費 | 旅費 | 公開研究集会開催費 | 外国人研究者招へい費 | 謝金 | その他 |
| 　 |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |
| **別紙１０の２** |  |
| 　設備備品費の明細　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 品名・仕様（数量×単価） | 金額（千円） | 本研究実施との関係などの必要理由 |
|  |  |  |
| 　消耗品・旅費・謝金の明細 |
|  | 消耗品 | 旅費 | 謝金 |
| 　品名　　 | 金額（千円） | 事項 | 金額（千円） | 事項 | 金額（千円） |
| 計 |  | 国内旅費　研究打合せ外国旅費　成果発表計 |  | 研究補助専門知識の提供資料提供閲覧計 |  |
| 公開研究集会開催費・外国人研究者等招へい費等の明細 |
|  | 公開研究集会開催費 | 外国人研究者等招へい費 | その他 |
|  | 集会名 | 金額（千円） | 氏名 | 金額（千円） | 事項 | 金額（千円） |
| 計 |  | 計 |  | 計算機使用料機器のレンタル費印刷費計 |  |
|
|  |

**別紙１０の３**

|  |
| --- |
| **研究目的**①期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか、②この研究の特色、意義、期待される成果、について、共同利用・共同研究拠点として実施する研究課題であることを踏まえ、防災研究所中期目標との関連や、防災学研究拠点ネットワークの形成という観点を含めて具体的かつ明解に記入してください。また、GADRI参加機関や国際交流協定締結機関を含む場合は、それらとの関係性についても記述してください。 |
|  |
| **研究計画・方法**　目的を達成するための研究計画・方法を、①主要設備（現有設備を含む）との関連、②研究代表者・研究分担者の相互関係（役割分担状況）、③海外を含む所外研究者とどのように共同して研究を進めていくのかということも含めて、簡潔かつ具体的に記入してください。 |
|  |

**別紙１０の４**

|  |
| --- |
| **関連する最近5年間の主要研究成果**執筆者、年、論文タイトル、雑誌名、巻号、ページを記載してください。枠内に収めてください。 |
|  |
| **前年度の研究経過、成果、および達成度（継続申請の場合）**継続申請の場合には、前年度の研究課題の当初目標の達成度と成果、および本申請によりさらに期待できる成果との関係を具体的かつ簡潔に記述してください。 |
|  |

**申請書は、e-mail添付により元の形式（Microsoft Word）で、必ず所内担当者から提出をお願いします。その際、メールの件名は、「拠点研究特別推進申請（○○○○）」又は「拠点研究一般推進申請（○○○○）」（○○○○は研究代表者の氏名）としてください。**

**提出先：宇治地区事務部研究協力課共同利用担当 e-mail：kyodo＠dpri.kyoto-u.ac.jp**

※提出後３日以内に「受領確認」の返信が届かない場合はご連絡ください。